

南橘地区地域づくり推進協議会 令和2年度の活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画した多くの恒例事業が『中止』となりました。

コロナ禍で、日常生活は、適切な感染防止対策の徹底といった「新しい生活様式」の実践が必要になりました。

本協議会も、マスクの着用、手洗い・手指の消毒、人混みや3密（密集、密閉、密接）を避けるなどの感染防止対策を実践しながら可能なものから活動を開始しました。

8月25日には正副部会長会議を開催し今年度事業の見直しなどについて協議し、具体的な活動について部会ごとに話し合っ進めようとしたのですが、コロナの収束が見えず感染が拡大したため、その後もほとんどの事業が実施できませんでした。

実施できた事業は、橘山の環境整備（草刈り、危険木撤去、ヤマザクラ植樹記念祭）、菜の花プロジェクト（田口菜の種の収穫、種まき、摘み菜、畑や菜の生育管理など）、廃食用油の回収などでした。

自然環境部会

「赤城白川まつり」・「赤城白川源流を訪ねる会」 【中止】

「赤城白川まつり」（第14回）は、平成19年から毎年4月29日（祝）に大勢の地域住民の皆さんに参加いただき実施してきましたが、初めて『中止』となりました。

また、富士見地区地域づくり協議会と共催の「赤城白川源流を訪ねる会」（第4回）は、前年の大雨による中止に続き、2年続けて『中止』となりました。

「橘山」環境整備活動 田口町自治会・橘山憩いの森愛護会の活動支援

田口町の身近な里山「橘山」を憩いの森として保全する活動です。

草刈や危険木の伐採など、一部の活動を実施しました。

日時	参加人数	内容
中止	—	ヤマザクラ観桜会（第4回）
令和2年 6月18日(木)	7人	駐車場の草刈り、危険木撤去作業
6月20日(土)	32人	散策道、植樹地等草刈作業（第1回）
8月22日(土)	27人	散策道、植樹地等草刈作業（第2回）
10月24日(土)	30人	散策道、植樹地等草刈作業（第3回）
中止	—	南橘中学校1年生と地域住民等で共同作業・自然体験学習
中止	—	自然観察会

11月21日(土)	40人	ヤマザクラ植樹記念祭(桜木冬支度)
令和3年 2月 5日(金)	4人	156本の桜木に番号札を設置

橘山の草刈りや危険木撤去作業

橘山憩いの森愛護会と田口町自治会が中心になって3回の草刈り、危険木の撤去作業などの環境整備を行いました。



危険木撤去作業の様子(6月18日)



第3回の草刈りの様子(10月24日)

橘山ヤマザクラ植樹記念祭を開催 【11月21日(土)】

平成19年の第1回植樹から13年が経過し、植樹した桜木は立派に成長しています。

秋晴れの中、40人が参加し、木周辺の雑草の除去や根元に落葉・枯草を集めて、冬の冷気・乾燥からヤマザクラを守る作業、名札の付替え作業などを行いました。



植樹者名簿の整理と番号札の設置 【2月5日(金)】

植樹から10年以上が経過したことにより、誰がどの木を植えたのか分からないものが多くなっていました。

そのため、橘山憩いの森愛護会と協力して植樹者名簿を整理し、桜木の配置図を作成するとともに、配置図と現地の整合を図るため、156本の桜木に番号札を付けました。

植樹者が訪れた際に、自分の植えた桜を容易に確認できるようにしました。



設置した番号札

花・緑いっぱい部会

田口菜 菜の花プロジェクト

田口町の遊休農地に伝統野菜「田口菜」を栽培しています。菜の花プロジェクト会員や参加希望の皆さんと一緒に、種まき、摘み菜、菜種の収穫、搾油などを行っています。

今年度は、三密（密集・密閉・密接）を避け、少人数により実施しました。

日時	参加人数	内容
令和2年 5月8日（金）	8人	菜種刈取り前の田口菜畑周囲の草刈り作業
5月29日（金）	8人	田口菜の刈取り・種の収穫作業、刈取りは機械委託
9月14日（月）	14人	【 5/29～9/13 ビニールハウス内で自然乾燥 】 種のごみ取り、袋詰め作業→しばらくの間種のまま保管
9月16日（水）	5人	田口菜畑周囲の草刈り作業
9月28日（月）	5人	田口菜畑に化成肥料を散布
10月3日（土）	19人	田口菜の種まき作業
10月8日（木）	12人	今年3月に搾油した菜種油（280本）のラベル貼り作業
10月15日（木）～	—	菜の花プロジェクト会員等へ販売→280本完売
令和3年 1月7日（木）	7人	田口菜の消毒
2月20日（土）	—	摘み菜開始（ハガキにて会員に通知） ※ 摘み菜講習会は中止
通年	岩崎部会員	田口菜畑の耕運等管理

田口菜畑の草刈り、施肥・耕運

【5月8日（金）】 田口菜を刈取る前の準備として、畑周辺の草刈りを行いました。

【9月16日（水）】 種まき前の準備として、伸びた雑草の刈取り作業を行いました。

【9月28日（月）】 田口菜畑に化成肥料を散布、翌日、耕運しました。



草刈り作業



化成肥料を散布

田口菜の刈取り作業（菜種の収穫）を実施 【5月29日（金）】

渋川市赤城町のそば組合に委託し、機械による刈取りを行いました。今年は、3反余りを刈取り9袋半ほどの菜種を収穫しました。収穫した菜種は、3か月ほど自然乾燥させます。



3千㎡余りの畑から菜種を収穫



菜種はビニールハウスに広げ、3か月ほど自然乾燥



菜種のごみ取り・袋詰め作業 【9月14日（月）】

5月29日から、芝田保彦さん宅のビニールハウスをお借りし、乾燥してきた種が袋詰めできる状態になったので、ごみ取り、袋詰め作業を行いました。

今年は、254kg（10袋+種まき用約13kg）の収穫がありました。

今年3月に搾油した油280本の在庫があるので、今年の収穫分は、種のまま保管し次年度に搾油することとしました。



十分に乾燥させた菜種に混じったごみを「ふるい」で除き、さらに選別機でキレイにし、袋詰めします。

田口菜の種まきを実施 【10月3日（土）】

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で協議会の役員など17人の少人数で行いました。市道南側の新たに借りた2区画の畑（約2反半）に種をまきました。昨年も種をまいた4区画のうち、2区画を休耕に、2区画（約1反半）はこぼれた種が発芽しているのでこのまま育てることとしました。



今年度はエコクラブの子ども達には参加いただきませんが、少人数でがんばりました

菜種油ビンのラベル貼り作業 【10月8日（木）】

3月に搾油した田口菜油280本にラベルを貼りました。

・菜種油：280本



地区文化祭や自治会行事の大半が中止になる中、民生児童委員協議会のみなさんや菜の花プロジェクト会員に販売しました。

(賞味期限が半年弱のため)

・菜種油：300円/本

すぐに完売となりました。



田口菜の害虫消毒作業 【1月7日（木）】

ダニが発生したため、約4反の田口菜に動力噴霧機を使って殺虫剤（400L）を散布しました。



田口菜の摘み菜講習会 【中止】、摘み菜開始 【2月20日（土）】

今年の摘み菜講習会は中止しましたが、菜の花プロジェクト会員の皆さんに摘み菜や花を楽しんでもらおうと摘み菜の開始をお知らせしました。



ごみ減量・リサイクル部会

廃食用油の回収

【通年】

廃食用油をバイオ燃料にリサイクルするため、南橘公民館にリサイクル庫を設置し回収しています。回収した廃油は、リサイクル業者が10円/kgで引き取りリサイクルします。

この売上収入は、協議会活動の財源として活用しています。

今年度回収実績：2,039kg（前年度回収実績：2,312kg）

衣類等交換会・廃油石鹸づくり教室

【中止】

衣類等交換会は、春（南橘リサイクルの会主催）も秋（当部会主催）も三密を回避することが難しいと判断し『中止』となりました。また、恒例の「石鹸づくり教室」も『中止』しました。

福祉部会

南橋子育て井戸端サロンの活動を支援 3月に2回開催

南橋子育て井戸端サロンは、親子の友だちづくり・情報交換の場として育児ボランティアの皆さんがサポートし保護者の方が運営しています。例年、南橋公民館で月2回開催していますが、今年度は、最後になってようやく開催できました。2回で延べ10組の親子が参加し、それぞれに楽しく交流していました。



生活支援体制整備事業への取り組み

南橋地区では、町ごとにふれあいサロンや安全安心パトロールなどの交流・見守り活動が活発に行われてきました。今年度のふれあいサロンは、中止になることが多かったものの、感染防止対策のうえ開催したり、内容を工夫してステイホームで開催したりと、運営する自治会の皆さんは大変ご苦労されました。防犯パトロールも感染防止対策を図りながら見守りや防犯・コロナ感染防止の呼びかけを行いました。

また、生活支援体制整備事業の支え合いの取組をさらに進めるために、前橋市社会福祉協議会が行う「町社協設立モデル事業」のモデル地区に下細井町と下小出町の2自治会が選定され、事業がスタートしました。

広報部会

地域探検隊「さくらロードを歩いてみよう」（令和2年）【中止】

令和2年の春は、前年よりも開花が早かったので、さくらロードを行う予定の3月29日には、花吹雪も加わり最高の見ごろでしたが・・・行事は中止となりました。

なんきつ地域づくり通信を発行

多くの行事が中止となったため、定期（7月1日号、1月1日号）に発行していた「なんきつ地域づくり通信」は休刊としましたが、3月に一年間をまとめた形で第23号を発行しました。

2021年3月1日号 (1)

なんきつ 地域づくり通信 第23号

編集・発行 南橋地区地域づくり推進協議会 広報部会 事務局 南橋公民館内 TEL21-2376

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年実施してきた「赤城白川まつり」や「南橋中生徒と地域住民の共同による橋山環境整備活動」、「衣類等交換会」など、多くの恒例行事が『中止』となりました。いまだに収束の見えないコロナ禍ですが、マスクの着用、手洗いの徹底、人混みや3密（密集、密閉、密接）を避けるなどの感染防止対策を実施しながら、可能なものについて活動してきました。

【実施した事業】

- ・橋山の環境整備（草刈り、危険木撤去作業、ヤマザクラ植樹記念祭 など）
- ・田口菜 菜の花プロジェクト（換み菜、種の収穫、種まき など）
- ・廃食用油の回収 など

【自然環境部会】

身志な里山「橋山」の自然保護と健全なヤマザクラの育成などの活動をしています。

【広報部会】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

【地域探検のまとめ】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

【自然環境部会】

身志な里山「橋山」の自然保護と健全なヤマザクラの育成などの活動をしています。

【広報部会】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

2021年3月1日号 (2)

なんきつ 地域づくり通信 第23号

編集・発行 南橋地区地域づくり推進協議会 広報部会 事務局 南橋公民館内 TEL21-2376

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年実施してきた「赤城白川まつり」や「南橋中生徒と地域住民の共同による橋山環境整備活動」、「衣類等交換会」など、多くの恒例行事が『中止』となりました。いまだに収束の見えないコロナ禍ですが、マスクの着用、手洗いの徹底、人混みや3密（密集、密閉、密接）を避けるなどの感染防止対策を実施しながら、可能なものについて活動してきました。

【実施した事業】

- ・橋山の環境整備（草刈り、危険木撤去作業、ヤマザクラ植樹記念祭 など）
- ・田口菜 菜の花プロジェクト（換み菜、種の収穫、種まき など）
- ・廃食用油の回収 など

【自然環境部会】

身志な里山「橋山」の自然保護と健全なヤマザクラの育成などの活動をしています。

【広報部会】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

【地域探検のまとめ】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

【自然環境部会】

身志な里山「橋山」の自然保護と健全なヤマザクラの育成などの活動をしています。

【広報部会】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く、地域探検のまとめ」は、大変好評でした。次年度も発行予定です。ご賛同いただいた方は、14町の自治会事務局や南橋公民館までご連絡ください。

その他の活動

つつじの植栽活動に参加

7月7日(火)

富士見町赤城山地内(赤城県道水路沿い)で開催された、赤城大沼用水土地改良区などが主催のつつじの植栽活動に5名で参加しました。この活動は、赤城山を花と緑でいっぱいにし自然環境の保全保護を推進することを目的に毎年実施され今年で11回目となります。今年で、累計4,600本を植栽したそうです。梅雨空の中、改良区組合員、県や市の職員、各種団体のボランティアなど100人ほどが参加し行われました。



開会セレモニー(山本市長も参加)



4班に分かれて植栽



来年度の活動へ向けて

「南橋地区地域づくり宣言2021」

昨年度に続き、今年度も地域づくり推進大会が中止となりましたので、令和3年度の「地域づくり宣言」、「活動計画」などは、5部会の正副部会長による書面協議により決定しました。

新型コロナウイルスの影響は長期化すると思っております、感染防止対策を徹底しコロナ禍でもできる活動を企画して行きますので、多くの皆さんの参加をお願いします。

公民館報やチラシの回覧などにより皆さんにお知らせして行きます。

南橋地区地域づくり宣言2021

新型コロナウイルスの感染状況により地域づくりの活動も制限せざるを得ませんが、一日も早く新しい通常の活動ができますようにと願い、ここに方針を定めます。

私たちは「赤城白川」「橋ノ木川」「橋山」など南橋地域の豊かな自然を大切に、次の世代に引き継ぎます。

より住みよい環境を築くため、「花・緑いっぱい」の運動を推進します。

人と自然が共生できる社会をめざし、地域・家庭から「ごみ減量・リサイクル」に取り組みます。

思いやり、助け合いを広げる地域福祉活動を進めます。

- 1 南橋の自然を守ろう**
 - ・橋山を始め北部地域に隣る「里山」を守ります。
 - ・田口、川原、上越井地区、赤城白川のほたるが飛び交う環境を大切にします。
 - ・橋ノ木川、赤城白川など清流が川を生きかした活動に取り組みます。
 - ・子どもたちをはじめ多くの人が自然の恵みを受けられるよう自然観察会を開催します。
- 2 花・緑いっぱいの南橋地域に**
 - ・花いっぱい運動コンクールを行います。
 - ・街角花壇づくりで歩いて楽しむ地域にします。
 - ・夏の花(田圃)プロジェクトで遊休農地を花いっぱいにします。
- 3 ごみ減量・リサイクルで環境にやさしい地域に**
 - ・有価物・資源回収と雑草回収を推進します。
 - ・古物などの再利用を推進するため、無料交流会を開催します。
 - ・資源回収会を立ち上げ、各家庭でリサイクルコンクールを行います。
 - ・地区や市の行事での思いの詰ったリサイクルの活用を減らします。
- 4 思いやり、助け合いあふれる地域に**
 - ・心れあい思いの詰ったサロンを町ごとに開きます。
 - ・一人暮らしの高齢者を守るため、安全安心パトロールの充実をはかります。
 - ・生活支援体制構築事業等に各町で取り組みます。
 - ・災害時の支援体制をつくります。(防災力を高める活動)
 - ・子育てサロンを地域で開きます。
- 5 地域文化の再発見**
 - ・文化財等を訪ね、地域の再発見しよう。

以上を目標に、南橋地区の地域づくりに取り組みの事を宣言します。

令和3年7月13日 南橋地区地域づくり推進協議会

令和3年度「地域づくり宣言」

コロナ禍がまだ続きます。

引き続き、基本的な感染防止対策の徹底と、一人ひとりが感染拡大の防止につながる行動をとっていただきますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。